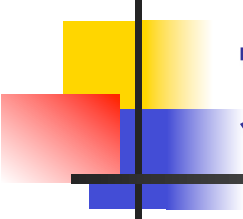


言語と文化：言葉の変化5

サンフランシスコ州立大学／国立国語研究所
南 雅彦



方言(地域方言 社会方言)

読ま	ない	起き	ない	食べ	ない	でき	ない	来	ない
読ま	へん	起け	へん	食べ	へん	でけ	へん	けえ	へん
		起き	ひん			でき	ひん	きい	ひん
						でき	へん	こお	へん

- 動詞の否定形

- 岡田オリ5連敗「野球**できひん**」デイリースポーツ (2010年4月8日)
「もう笑いしか出て**こえへん**わ。野球**できひん**。ヨーイドンで終わってしまうもんな」。

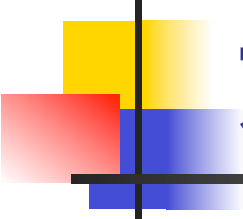
- オリ・岡田監督、バッテリーに苦言「簡単なことが全然**できへん**」スポーツナビ(2011年9月10日)

方言 (地域方言 社会方言)

エ段 同化	ない	起き ない	食べ ない	でき ない	来 ない
	へん	起け へん	食べ へん	でけ へん	けえ へん
イ段 同化		起き ひん		でき ひん	きい ひん
				でき へん	こお へん

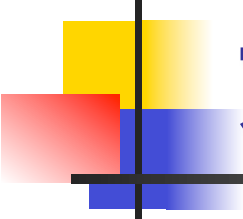
ネオ方言

- 動詞の否定形
- 岡田オリ5連敗「野球**できひん**」デイリースポーツ (2010年4月8日)
「もう笑いしか出て**こえへん**わ。野球**できひん**。ヨーイドンで終わってしまうもんな」。
- オリ・岡田監督、バッテリーに苦言「簡単なことが全然**できへん**」スポーツナビ (2011年9月10日)



方言(地域方言 社会方言)

- 方言蔑視はすでに平安時代から存在。
 - 『拾遺和歌集』(古今・後撰に次ぐ第三番目の勅撰和歌集で、いわゆる「三代集」の最後。一条天皇の代、寛弘三年(1006年頃の成立か)。
 - 「あづまにて養われたる人の故は舌だみてこそ物はいひけれ」「(京都から見て)東国で育った人は、なまった物言いをする」
- 明治維新以後は、欧米先進国に追いつくため国家統一を図る必要があり、言葉でも統一を図ろうとした。
- 関西弁は特殊な立場にある
(方言コンプレックスがない)。



方言(地域方言 社会方言)

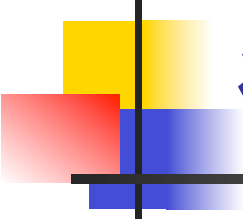
- 音声言語(orality)と書記言語(literacy)の相違を認識する。
 - これは方言調査とも関わりを持っている。

	文献	方言
地理的範囲	中央語	中央語と地方語
使用者層	上流階級・知識人	庶民
推定年代	絶対年代(具体的な数字で表示された年代)	相対年代(新旧関係しか捉えられない)
文体	書き言葉が中心(書記言語)	話し言葉のみ(音声言語)

役割語(地域方言 社会方言)

A	そうよ、あたしが知ってるわ	ア	お武家様
B	そうじゃ、わしが知っておる	イ	(ニセ)中国人
C	そや、わてが知っとるでえ	ウ	老博士
D	そうじゃ、拙者が存じておる	エ	女の子
E	そうですわよ、わたくしが存じておりますわ	オ	田舎者
F	そうあるよ、わたし知ってるあるよ	カ	男の子
G	そうだよ、ぼくが知ってるのさ	キ	お嬢様
H	んだ、おら知ってるだ	ク	関西人

金水敏『ヴァーチャル日本語役割語の謎』より



役割語(地域方言 社会方言)

	博士語	標準語	西日本方言	東日本方言
断定	雨じゃ	雨だ	雨じゃ、雨や	雨だ
打ち消し	知らん 知らぬ	知らない	知らん 知らへん	知らない 知らねえ
人間の存在	おる	いる	おる	いる
進行	降っておる 降っとる	降っている 降ってる	降っておる 降っとる	降っている 降ってる
状態	知っておる 知っとる	知っている 知ってる	知っておる 知っとる	知っている 知ってる

金水敏『ヴァーチャル日本語役割語の謎』より

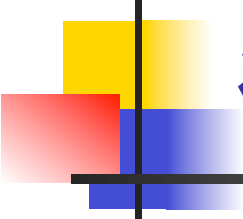
博士語は部分的にはあるが、
現代西日本方言の文法の特徴を持っている。
博士語をしゃべらない博士がいる。では、博士語は老人語か？

	博士語	標準語	西日本方言	東日本方言
断定	雨じゃ	雨だ	雨じゃ、雨や	雨だ
打ち消し	知らん 知らぬ	知らない	知らん 知らへん	知らない 知らねえ
人間の存在	おる	いる	おる	いる
進行	降っておる 降っとる	降っている 降ってる	降っておる 降っとる	降っている 降ってる
状態	知っておる 知っとる	知っている 知ってる	知っておる 知っとる	知っている 知ってる

金水敏『ヴァーチャル日本語役割割語の謎』より

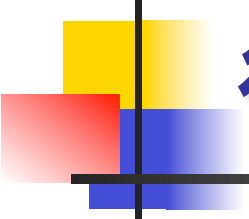
現実とのズレ。ステレオタイプ？ —————→
女性語(女性的表現)・男性語(男性的表現)

	男性的特徴	中立的	女性的特徴
判定詞「だ」	君はバカだ(+よ・ね・よね)		あなたはバカよ(ね)
「のか・のだ」	これ、誰が書いたんだ(い)		これ、誰が書いたの？
命令形	こっちへ来い	こっちへ来て	こっちへ来てくださる



役割語(地域方言 社会方言)

- 阪神拙攻、4番の差…新井貴「**僕**の責任」
(セ・リーグ、巨人5－2阪神、16回戦、8勝8敗、23日、東京ドーム)
- 虎の命運を握る4番は「みんなつないでくれたのに…。**自分**の責任です」と肩を落とした。
産経新聞 2011年8月24日
- 【阪神】新井貴3度好機潰し「**俺**の責任」
＜巨人2－5阪神＞◇23日◇東京ドーム
- チャンスでの凡退が目立つ主砲は「**俺**の責任。せつかくみんながつないでくれているのに」と責任を背負い込んだ。
日刊スポーツ 2011年8月24日



役割語(地域方言 社会方言)

- ウサイン・ボルトの“I”は、なぜ「オレ」と訳されるのか—スポーツ放送の「役割語」
(太田真希恵:金水敏(編)『役割語研究の展開』より)
 - 「**オレ**がナンバー1**だ**」(陸上男子ウサイン・ボルト選手)
 - 「**僕**には強い競争心が**あります**」(水泳マイケル・フェルペス選手)
 - 「記録を出す秘訣なんてない**わ**」
(「棒高跳びの女王」エレーナ・イシンバエワ選手)
 - 「**オレ**は日本の選手を倒すマシーンになる**んだ**」(柔道フランスのテディ・リネール選手)：柔道は6歳から始める。あまりの悪童ぶりに手を焼いた両親がしつけの一環でクラブに送り込んだのがきっかけとなる。2メートル04、130キロの恵まれた体から繰り出す豪快な柔道で、2007年世界選手権で井上康生を強烈な返し技で破るなど快進撃を遂げ、北京オリンピックでの石井慧選手の最大のライバル。